

## FP Topics

2018年6月号

### NISAの概要とその活用法

#### ★貯蓄から投資へのシフト

アベノミクス政策により、日本経済は良好で順調に上向いている?というような報道や風潮はありますが、ライフ・リタイアメントプラン相談の中では、そんな楽観的な空気はあまり感じられません。

5月号でも少し取り上げましたが、人生における3大資金である《教育資金・住宅資金・老後資金》を考えると世帯所得の拡大は重要な課題となります。今月は、お金にも働いてもらう!!**金融資産運用特集**です。金融庁の掲げるスローガン、**貯蓄⇒投資**へは

数年前から少しずつ話題になっているかと思われませんが、“よく解らない”“危険じゃない?”“損しそう”なんて思われている方々がほとんどではないでしょうか。これは従来学校教育などで、お金に関する教育(投資教育等)がなされていなかったことも一因と考えられます。これを金融庁も危惧しており、近年《**長期・積立・分散**》をキーワードにNISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)への取り組みを強化しています。家計金融資産の推移(約20年間)では、アメリカやイギリスに大きく引き離されており、アメリカでは3.32倍に増加しているのに対し、日本では1.54倍に留まっています。

### 各種NISAの比較

	ジュニアNISA	NISA	つみたてNISA
対象者の年齢	口座開設する年の1月1日時点で19歳以下	20歳以上	20歳以上
年間投資上限額	80万円	120万円	40万円
払出し制限	18歳までは原則不可	制限なし	制限なし
資産の運用	原則親権者が代理運用	口座名義人	口座名義人
ロールオーバー	可能		不可
非課税期間	原則5年間		20年間
講座開設期間	2023年まで		2037年まで
対象商品	上場株式・投資信託・ETF・REITなど		投資信託・ETF
その他	ジュニアNISAは金融機関の変更不可		

#### ★NISAとは

NISAとは、証券会社や銀行などの金融機関において、NISA口座を開設することにより利用することができる【少額投資非課税制度】です。この口座を利用し、投資して得た利益は非課税となります。通常、株式等の売却など、金融商品の運用で得た利益に対して約20%の譲渡所得税が課せられます。が、NISA口座内での売却による譲渡益は非課税となり税金はかかりません。

#### ★3種類のNISA

【NISA】2014年に創設された制度であり、年間上限120万円まで投資可能です。

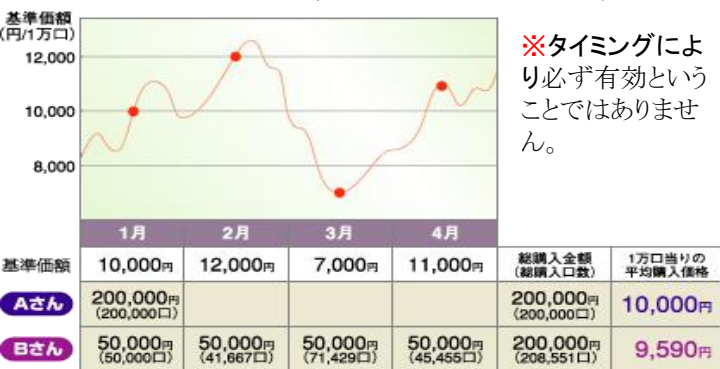
【ジュニアNISA】2016年に創設され、主に教育資金準備に活用されることを想定しています。

【つみたてNISA】2018年1月に創設された最後のNISA。《**長期・積立・分散**》をキーワードに、老後資金などの準備にたいへん有効な投資方法になります。

# 《長期・積立・分散》投資とは

## 【時間分散】

長期積立分散投資における時間分散とは、長い時間を使って、コツコツ積立投資を行うことをいいます。つまり時間を見方につけるとい事です。具体的には**ドルコスト平均法**という手法です。



AさんとBさんを比較すると、毎月定額でコツコツ買い付けることにより、Bさんは平均購入価格を抑えることができます。

## = 長期・積立・分散投資の薦め =

5月号でも触れていましたが、人生における3大資金には大きな資金が必要です。教育資金や住宅資金を準備する際には、早めの手当てが有効です。早い時期から積立投資を行うことにより、大きな複利効果を得る可能性も高まります。こども手当なども上手に利用し、教育資金・住宅資金等をクリアしたとしても、最後の関門が老後資金となります。巷では人生100年時代といわれているように、長生きすることがリスクとなる時代に突入するようです。既存の公的年金だけでは心もとないと考える方が大半ではないでしょうか。今後の人口減少を考えると日本の高齢化社会は世界でも類をみません。少ない現役世代が多数の高齢者を支える▼逆三角形の形になります。これらを鑑みると自分の老後資金は自分で準備しなければならないのではないかと考えます。今の65歳や70歳はまだまだ若く、健康であれば現役でバリバリ働くことができますので、出来るだけ老後を短くすることも一つのリスク回避ではないでしょうか。65歳で朝起きて何もすることがない、というのも寂しい気がします・・・

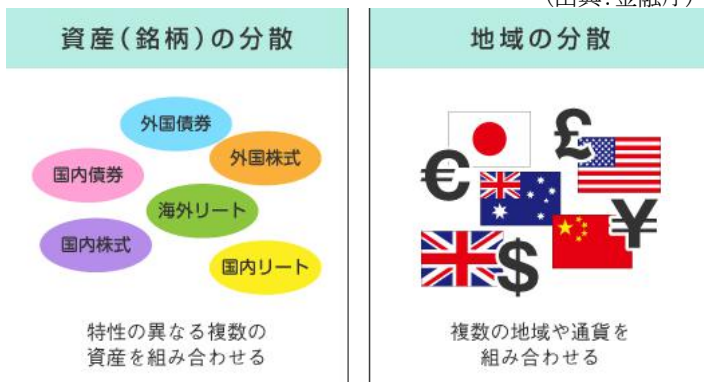
長期・積立・分散投資で約20年間(1995～2015)投資した場合の投資パフォーマンスを金融庁の資料で見ることが出来ます。6資産(国内株式・債券)(先進国株式・債券)(新興国株式・債券)に1/6ずつ投資した場合、年平均約4%のリターン実績を得られているようです。今月は紙面の関係上、iDeCoについて触れておりません。来月はiDeCoについても解説したいと考えています。また、そもそも投資信託ってなに？ってことかもしれません。特集したいと思います!!

## 【資産及び地域(通貨)の分散】

特性の異なる銘柄を複数組み合わせることにより、投資リスクを効率良く回避することも可能です。またリスクを負うことにより、より多くのリターンを求めることも出来ます。いわゆるハイリスクハイリターンといわれるものです。

また、地域分散とされているのは、様々な国や通貨に分散して投資することにより、リスクを回避していこうとする考え方です。

(出典:金融庁)



## ～今月の山便り～

今月の山便りは、北アルプス北穂高岳です。この写真は、北穂沢を登りつめた鞍部からのショットだと思います。季節的にはGWの前半、4月の終わりごろだったと記憶しています。足下には涸沢のテントと涸沢ヒュッテの屋根が少しだけ雪の上に顔を出しています。眼前には日本で一番美しいスカイラインと言われている？前穂北尾根が悠然としています。抜けるような青空と真っ白な雪のコントラストが素晴らしい景色を演出してくれました。この後、北穂小屋で飲んだビールは格別でした!! 翌日下山時、調子に乗って北穂沢を尻セード(お尻で滑って降りる技術)で下降していた際、ピッケルでのスピード制御が不能となり、かなりの距離を滑落してしまい、首と肩を挫傷してしまった苦い思い出も甦ります・・・

